

鈴鹿第7地域包括支援センターだより

皆さん、こんにちは。天候によって気温差がある季節です。規則正しい生活を送って、体調を整えましょう。



知って防ごう 高齢者虐待

超高齢社会に突入し、誰もが介護する、介護される可能性のある時代になりました。それと同時に、高齢者の虐待が身近な問題となりつつあります。

厚生労働省の調査によると、家族など介護や世話をする人から高齢者が虐待を受けたと判断された事例は、年間約1万7千件にのぼっています。

Q・どうして虐待が起こるの？

A・虐待は、虐待者が悪者だから起こるのではありません。介護をする人は、これまで経験したことのない介護という役割を背負い、思い通りにいかないことに、とまどいやイライラ、疲労を感じている事が多いようです。心身ともに疲れ、孤独感が追い打ちをかけ、追い詰められてしまう人が多くなっています。

虐待を受けた高齢者のうち、約7割が認知症の症状があり介護が必要な状態となっています。

※高齢者虐待防止法では、養護者(虐待をしている人)も守られます。犯罪にならないよう未然に支援します。



**ひとりで抱え込まないで
相談しましょう♡**

ご近所の高齢者のこと



一人暮らしや、高齢者のみの世帯がますます多くなってきました。たとえ、ご家族と一緒にいても、昼間はずっとお一人の方もいます。孤立を予防するために、ご近所のちょっとした見守りが大切です。

◎ちょっとしたサインを見逃さないで

- ・最近見かけない
 - ・夜になっても電灯がつかない
 - ・郵便物がたまっている
 - ・怒鳴り声が聞こえる
 - ・不自然なケガがみられる
 - ・同じ服を着ていたり、汚れたままでいる
- ・・・など

もし気づいたら・・・
地域包括支援センターや市役所(長寿社会課)に通報しましょう。

※通報者の秘密は守られます。
個人情報保護違反にもなりません。
安心してください。



《出前講座のご案内》

地域の集まり、老人会、サロンなどに出向き、介護予防や福祉のお話など出前講座をさせて頂いております。お気軽にご連絡ください。



ご相談・ご連絡は

鈴鹿第7地域包括支援センター りんどう

住所：鈴鹿市南若松町1番地（伊勢マリンホーム内）

電話 380-5280



〈スタッフ〉

主任ケアマネジャー 青島・伊藤
保健師 森重
社会福祉士 高畑・横地
ケアマネジャー 椎名・堀口・山本
事務員 片川